

〈感染対策〉 年会現地開催についてのガイドライン

本ガイドラインは、その時点で政府が発出しているイベントの開催における制限の遵守を前提に、一般社団法人日本コンベンション協会及び一般社団法人日本展示場協会が策定した新型コロナウイルス感染防止ガイドラインを参考に、第22回日本中性子科学会年会の現地開催において取るべき対策をまとめたものです。

◇会場運営における対策

- 年会参加者・出展者・関係者・運営スタッフ全員の毎日の検温と体調確認
- 各入場口・ロビー等随所へのアルコール消毒液の設置
- すべての期間を通じて、来館者全員のマスク着用を要請
- 事前登録の推奨による当日受付作業の簡略化
- 入場・受付時の待機列の削減と距離の確保
- 会期中の会場全体の清掃・消毒の体制強化と喚起
- 企業出展における大声での会話や呼び込みは控える
- 学会参加者・出展者・関係者・運営スタッフの名簿リスト作成(追跡調査ができるように)
- 運営スタッフ全員、初日業務に入る前に抗原検査キットによる検査を実施

◇施設(会場)が取るべき対策

- 主催者が実施する感染防止対策の事前確認とサポート
- 来館者全員へのマスク着用・頻繁な手洗い・手指消毒励行を求めるサイン・貼り紙の設置
- 密閉型喫煙所の使用禁止、屋外喫煙所の設置(誘導サイン含む)
- トイレの石鹸・消毒液の増設、ハンドドライヤーの使用禁止
- 空調・換気の状態の把握
- 共用部休憩スペースやレストランのテーブル・イスの間引きや対面型を避けるレイアウト
- 飲食物の提供方法の工夫(個包装や使い捨て容器の使用、セルフサービス化)
- 感染の疑いがある者が発生した場合の対応方法のマニュアル化、所轄保健所との連絡体制の構築